

**株式会社長谷川萬治商店らは、
 国土交通省「安定的な木材確保体制整備事業」に
 採択され、「木造版ECIを実現する木材SCM向け SaaS」の
 開発を開始いたします。**

株式会社長谷川萬治商店(東京都江東区/代表取締役執行役員社長 長谷川泰治)は、小井土製材株式会社、株式会社山共、東濃ひのき製品流通協同組合、株式会社コバヤシ工業、株式会社厚木地所、株式会社長谷萬と共に、国土交通省令和3年度補正 地域型住宅グリーン化事業(うち、安定的な木材確保体制整備事業)の公募に応募し、「木造版ECIを実現するSCM SaaSの開発及び提供」の提案が採択されました。今後、同 SaaS の開発を関係7社で連携し進めてまいります。

株式会社長谷川萬治商店は、東京・木場の材木屋を発祥とし、「木を守る。木を生かす。」をブランドスローガンに、木材販売事業、木材加工事業を展開しています。

1. 国土交通省「安定的な木材確保体制整備事業」とは？

昨今の木材の需給逼迫、価格上昇をふまえ、地域の中小工務店が安定的に木材を確保できるようにするため、地域の中小工務店や木材関連事業者等が協力して行う先導的な取組み検討を、国が支援するものです。

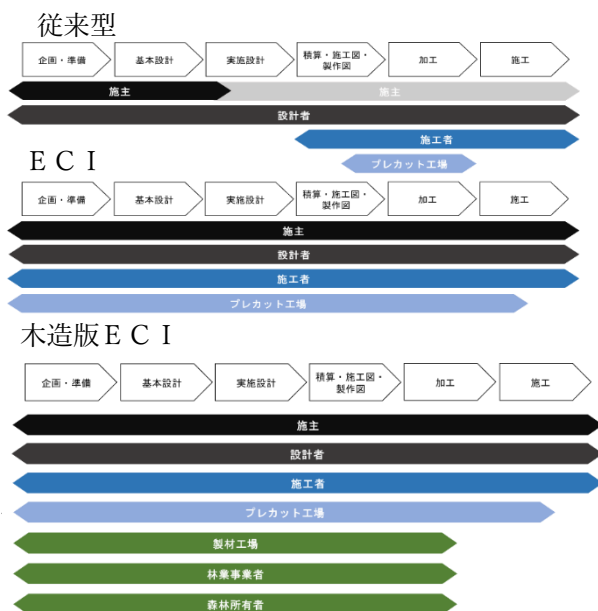
国土交通省報道発表: https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001061.html

株式会社長谷川萬治商店らは、本事業を通じて、木造版ECIを実現する木材 SCM に関する SaaS の開発を進めてまいります。

2. 「木造版ECIを実現する木材 SCM に関する SaaS」とは？

中小工務店が担う木造建築における木材需要は、通常、顧客と中小工務店との工事請負契約が締結され、設計仕様が確定し、発注情報としてプレカット事業者と共有されます。こうした個別の建築プロジェクトにおける木材需要を、できるだけ早期にプレカット事業者や製材事業者、原木生産者など、各々関係者にとって意味のある情報の形で共有することができれば、各関係者のジャストインタイムによる生産の平準化や最適在庫量の見込みに、活用できるようになります。

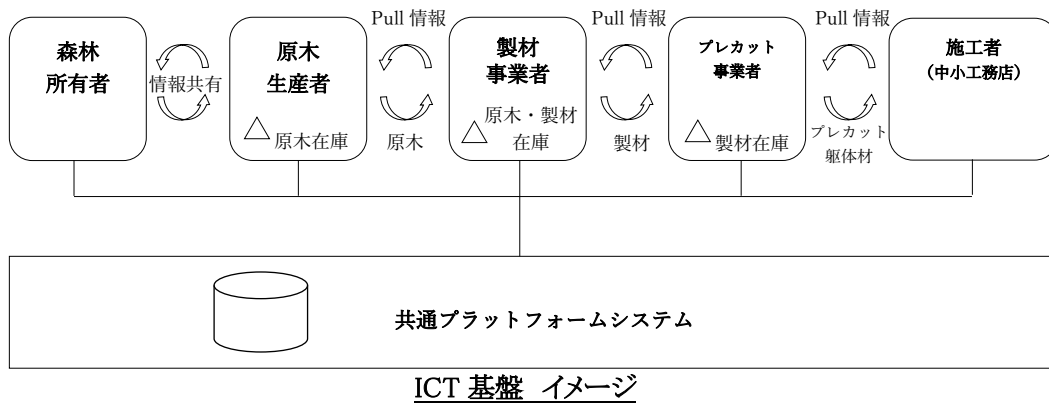
建築プロジェクトにおいて設計段階から、発注者と設計者に加えて施工者も参画する方式は ECI (Early Contractor Involvement) 方式と呼ばれますが、「木造版 ECI」とは、この仕組みを木造建築における木材サプライチェーンの川上、川中の事業者にまで広げ、各関係者のノウハウを設計の初期段階



から共有・活用する考え方として、株式会社長谷川萬治商店が提唱しております。

本プロジェクトでは、この「木造版ECI」を推進するグループの連携体制を構築し、併せて、中小工務店から川上、川中の事業者が木材の需要情報を共有する、ICT基盤の実現を目指します。この ICT 基盤を活用することで、中小工務店を起点とする木材需要について、プル情報での情報伝達をサポートし、各事業者が木材在庫量を適正化しながら、木材の受発注に関する業務効率をアップさせる仕組みづくりを進めます。

株式会社長谷川萬治商店では、ICT を活用したこうした取り組みが、各事業者のリードタイムを木材生産、供給の安定化につながり、結果として木材調達の安定化につながるものと考えています。



本プロジェクトではこうした木材に関する需要情報を中小工務店、プレカット事業者、製材事業者、原木生産者らとの間で、スピーディーに需要情報を共有できるプラットフォームを構築し、SaaS としてのサービス実現を目指します。

■本プロジェクト 参画事業者

株式会社長谷川萬治商店、小井土製材株式会社、株式会社山共、東濃ひのき製品流通協同組合
株式会社コバヤシ工業、株式会社厚木地所、株式会社長谷萬

□当社について

会社名 : 株式会社長谷川萬治商店
所在地 : 東京都江東区富岡 2-11-6
事業内容 : 製材品・製材加工品の販売／プレカット加工販売／CLT・DLT・大断面集成材加工販売
URL : www.haseman.co.jp

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社長谷川萬治商店 経営管理部 担当:池田

TEL:03-5245-1156 E-mail: shinichi.ikeda@haseman.co.jp

木を守る。木を生かす。

HASEMAN